

通信票の見方について

那須町立那須高原小学校長 遠藤 克朗

○ 3学年から6学年の「評定」をなくしました。

簡単に言えば、総合的に学習の状況を数字で表したものを「評定」といい、◎や○などの記号で表された3つの観点の状況を表したものを「評価」といいます。各教科の3つの観点に合わせてしっかりと「評価」したものを、総合的に判断する「評定」で換算することは、通信票には必要ないと考えます。授業中の様子を中心にしてしっかりと見取って「評価」したことをお伝えすることで十分だからです。したがって、第3学年から行われてきた「1」「2」「3」で表していた学習の状況をなくすことにしました。

○ 「評価」の意味を変えました。

「評価」はテストだけで行われるものではなく、授業中の様子や発言内容等を加味した見取りも基になります。テストは評価するための一つでしかありません。授業中、頑張っていない子供たちなどいないのです。そんなお子様の学習状況を「がんばりましょう」「できています」などの診断的な表現で表すべきではないと考えます。評価は先生方の指導と一体化しています。「もっと伸ばしたい」「もっと教材研究をして分からせたい」「もっと教え方を工夫したら伸びたかも…」そんな思いで評価は行われるものです。

がんばりましょう【空欄】→まだまだ伸びる力をもっています【空欄】

意味) 指導や支援の工夫や改善を中心にして、お子様のよさや力が発揮できるように進めるようにします。

おおむね達成しています【○】→自分のよさを発揮しています【○】

意味) 発言や行動など、お子様のよさが授業中に発揮されていますので、今後とも指導や支援の改善を行いながら進めていきます。

十分に達成しています【◎】→努力を十分に生かしています【◎】

意味) 自分なりの努力をしっかりと行っている姿を認めるとともに、更によさや力が授業中に発揮できるように工夫していきます。

○ 生活の様子は特に良かったもののみを表記しました。

教室での過ごし方や学習に関連する様子をつぶさに見取ることは難しいことです。また、行動の「できない理由」にも目を向ける必要がありますし、診断的に「できる」「できない」ではないことを再確認する必要があります。できなかったことよりも、できたことを賞賛の意味を込めてお伝えすることに意味があると思います。したがって、生活の様子は、特によく取り組めたことや顕著に現れた姿を表記しています。